令和８年度第２回愛知支部評議会議事概要

開　催　日　時	令和８年 10 月 20 日(火)　10：00～12：00
開　催　場　所	愛知支部　第一会議室
出　席　議　員	加藤評議員、競評議員、坂本評議員、田中評議員、深谷評議員、宮武評議員、山口評議員　（五十音順）
議　　題	

１．令和９年度　平均保険料率について
２．中期戦略プラン（案）
３．支部戦略プラン（支部健康づくり戦略）策定に向けた意見聴取
４．令和８年度　愛知支部の取り組みにかかる中間報告

議　事　概　要
（主な意見等）

１．令和９年度　平均保険料率について

事務局より資料１、参考資料に基づき説明。

＜学識経験者代表＞

資料 1-1 に「短時間労働者等への被用者保険適用拡大による協会けんぽへの財政影響は、年間 510 億円の負担増と試算」とあるが、法律改正でこのような負担増があらかじめ見込まれている以上は、それに応じて国庫補助で補填するというような議論がセットで行われたのか。

（事務局）

協会けんぽへの国庫補助は医療給付費に対する 16.4%が主たるものである。今回の適用拡大による負担増に対しての補填として国庫補助の議論は行われていない。

＜学識経験者代表＞

赤字健康保険組合の解散が協会けんぽ財政に与える影響が不透明、ということだが、マイナスで負担増と見るのか、健康保険組合は協会けんぽに比べ比較的収入の高い方が多いということで逆にプラスと見るのか、どのような考え方になるのか。

（事務局）

健康保険組合は報酬の高い方が比較的多いと思われ、同水準のまま移行すれば保険料収入としてはプラスの面が出ると思われる。一方で支出の面では予想しがたいところがあるため、総合的な影響は不透明ということになる。

＜被保険者代表＞

色々なパターンの試算を作っていただいたが、最終的には国庫補助率 16.4%の維持が肝になってく

ると考える。

（事務局）
お話しいただいたとおり、私どもも国庫補助率 16.4%を維持が必要と考えており、大臣折衝により令和 10 年度までの間に国庫補助率の見直しが検討されることとなっており、非常に注視しているところである。

＜事業主代表＞
ここ数年賃金は常に上昇しており、中小企業としては人件費の高騰が非常に大きい。それもあり、保険料率は抑えられていても企業全体の支出額としては非常に増大している。ぜひ保険料率自体は 9.9%を維持していただきたい。ただ、シミュレーションからも状況としては非常に厳しいことが見てとれるため、そのあたりのバランスを取っていくことが重要であると感じている。

2. 中期戦略プラン（案）

事務局より資料 2 に基づき説明

意見質問等なし

3. 支部戦略プラン（支部健康づくり戦略）策定に向けた意見聴取

事務局より資料 3 に基づき説明

＜被保険者代表＞
愛知支部の課題としてあげられた 15 歳未満の 1 人当たり医療費について、上手な医療のかかり方を広報媒体で促進するのは難しい点もあるという感想。表現によっては医療にかかるな、というように受け止められてしまう。

＜学識経験者代表＞
15 歳未満の 1 人当たり医療費については、都市部に小児科が集中しているなどの構造的な部分も大きいと思われるので、この部分に協会がマンパワーを注力してしまうのはややもったいないと感じる。取り組めば確実に伸びる項目を重点的に取り組むのが良いのではないか。

（事務局）
必要な医療をしっかりと受けていただくことは前提で、上手な医療のかかり方の周知広報等を中心に取り組んでいくこととしている。

＜学識経験者代表＞
地域特性の反映ということで、愛知県の行政プランや特色についての情報があれば教えてほしい。

（事務局）
愛知県の健康づくりの体制として健康日本 21 あいち計画というものがある。スパンが長く 2024 年度からの 12 年計画のもの。こちらについては健康寿命の延伸に関係する広い範囲での計画となっているが、健診の拡充や健康経営の取り組みといった協会けんぽの活動と重複している部分については今後も連携していきたいと考えている。

4. 令和８年度　愛知支部の取り組みにかかる中間報告

事務局より資料 4 に基づき説明

＜学識経験者代表＞
けんぽアプリは業務効率化の方向に進んでいるが、ウォーキングの距離に応じてポイントが受けられるなどの遊び心を入れても良いと思う。

（事務局）
現在はバージョン 0 で使える機能も限られているが、インセンティブ付与といったご意見も頂戴しており、実現にはハードルもあるが、遊び心という点は重要であるため、参考にさせていただく。

＜被保険者代表＞
高額療養費の改正について、年間上限額が取り入れられたことなども周知が行き届いていないように感じる。広報にもっと盛り込んだほうが良い。

（事務局）
高額療養費はより複雑化している。何度も機会を捉えて皆様の目に触れるよう広報をしっかりやっていきたい。

＜事業主代表＞
最近個人情報の流出が社会的に大きな問題となっている。協会けんぽでも対応を行っていると思うが、万が一の際の対応についても今後の課題ではないかと考えている。

特　記　事　項
・傍聴者：なし ・次回は令和 8 年 12 月開催予定。